

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和46年度以前			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	01 農業
事務事業名			03 農業用施設維持管理事業
			根拠法令・例規等
			問 担当課(室) 農林水産課
			先 職・氏名 係長・大道健一
			電 話 0869-64-1831

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	農家等受益者並びに水利施設下流住民
目的(何のために)	農業用施設の維持管理費負担、施設管理委託を行うことにより、関係住民の安全と受益者の農作業の効率化を図る。
行政活動(どのような方法で)	地元からの改修要望、巡回等による。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	農業用基盤施設(農道、ため池等)の改善整備・維持補修等ができることにより、安全で効率的な農作業が出来る。

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
国営吉井川坂根合同堰管理費負担金	円	8,825,709	8,825,709	8,825,709	
吉井川坂根合同堰管理費負担金	円	1,908,443	1,921,717	1,485,415	
旭東用排水組合負担金	円	1,097,000	1,063,000	1,041,000	
大ヶ池管理委託料	円	450,000	450,000	450,000	
井田樋門管理委託料	円	360,000	360,000	360,000	
大ヶ池管理基金積立	円	2,109	7,054	6,012	
事業費					
直接事業費	千円	4,478	5,371	15,478	
必要人員人件費	千円	1.42人	1.52人	13,090	
事業費計		16,298	17,597	28,568	
財源					
国	千円	641	1039	861	
県					
受					
益					
者					
負					
担					
比					
率					
一		15,657	16,558	27,707	

結果指標					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
結果指標量	説明				
対前年比	%	-			
活動コスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
結果指標量	説明				
対前年比	%				
活動コスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
設定できない	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価 <A-E> A 判定理由・課題認識	
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 団体から事業実施に当たり事業実施要望がある	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B 判定理由・課題認識
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> A 判定理由・課題認識
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	事業負担を持って有効性と考える。	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量	結果指標量			成果指標量	
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況						休止
説明	引き続き施設の適正な維持管理を行う。					

総合評価	
負担金の削減は事業が無くなれば可能だが、維持管理経費等も今後あるので、地域の防災施設としての位置付けも出来るので、今後とも継続していく必要がある。	評価区分 <A-E> B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	今後とも必要に応じて実施していく。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		